



RETENTION Plus

BY RETENTION AND RECLAMATION COMMITTEE OF NSD

BIMONTHLY NEWSLETTER

2014
August

Vol. 1

GREETING

緊急の課題、リテンション

教会の使命は、世界中に福音のメッセージを伝えることです。イエスは、このことをマタイ福音書28章19節で明瞭に示されました。「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し」なさい。教会は、この福音の大宣教命令を果たすために組織されました。

神の恵みと、教会員の心を合わせた努力により、毎年北アジア太平洋支部では、約1万5千の尊い魂がバプテスマを受けています。しかしながら、悲しいことに、色んな理由でその内のかかりの人々が教会を去っているのです。これは何十年も続いている、大きな課題です。

教会員を定着させ、失われた会員を回復する (Retention & Reclamation) 課題のために、今、教会がもっと注意を向けていることを嬉しく存じます。私

たちは、バプテスマを受けた後、信徒がもっと教会に留まるようになるための実行可能な方策を真剣に研究し、開発する必要があります。教会員の定着と回復は、リバイバルと改革と共に手を携えて進みます。この四つの偉大な R (Retention, Reclamation, Revival, and Reformation) が、すべての教会で十分に達成されることを祈ります。教会員の定着 (Retention) と失われた会員の回復 (Reclamation) のための努力を強めるため、このニュースレターが教会内で連絡を取りあう手段として役立ちますように。



北アジア太平洋支部
総理、ジャイヨン・リー

RETENTION PLUS

Retention Plus (リテンション・プラス) は、四つのR (リテンション、リクレーション、リバイバルとリフォーメーション) に関する記事やニュースを通して支部内の各教会のために、リテンション・プロジェクト・コーディネーターや牧師たちを力づけることを目指しています。間近なイエスの再臨に対して教会員を備えをさせ、具体的な行動へかきたてるよう、読者を目覚めさせ励ますことを願っています。

Retention&Reclamation Committee Members

Chairman

Jairyong, Lee

Secretary

Fukui Teru

Members

Barbara Choi
David Ripley
Lynn Ripley
Kwon JohngHaeng
Joo MinHo
Han SukHee
Kim SiYoung

Main Editor

Fukui Teru

Assistants

Oh MyoungSook
Kim MinKyung



Northern Asia-Pacific Division
of General Conference

P. O. Box 43. Goyang Ilsan,
410-600, Republic of Korea
Tel: 82-31-910-1500
Fax: 82-31-919-4412
Email: tfkui@nsdadventist.org

イエスは、数字を気にしておられる

今日、バプテスマの数に関するとなると、多くの人たち、特に牧師たちや各地の教会のあいだではその数字はあまり大事にされません。バプテスマの数字を気にすることが、教会全体の霊性が崩れる原因になったのだと多くの人たちは考えています。この精神が広く行き渡った結果、教会の指導者たちまでがバプテスマの数を話すのをためらいます。でも、イエス様は違っていました。彼は、数について大きな関心を寄せられました。

例えば、失われた羊の例え話は、失われた一人の魂に対するイエスの素晴らしい配慮と関心を明確に語っています。百匹のうちの一匹。一匹ぐらいが失われても重要なことではないと考えることもできました。しかし、イエスを表すこの羊飼いは、その失われた羊を探し見つけて、檻に連れて戻すまで、大変な努力をしました。その失わ

れた羊を見出そうとする努力は並大抵なものではありませんでした。私たちひとり一人は、偉大なる羊飼いイエスが見出し、救って下さった働きの実です。そうやって、イエス様は百匹の羊を留め、守られたのです。その意味で、数字はイエスのお働きに大きな意味がありましたし、今日もイエスにとって大きな意味があるのです。

ついに、リテンション (教会員定着) とリクレーション (教会員回復) のニューズレターが発行されました。これが、各地の教会の健康と失われた魂への私たちの態度が変わる助けになりますように。その結果、教会員の定着と、回復が劇的なものとなりますように。



NSD、支部総理補佐、
リーダーシップ開発、
ジュー・ミンホー博士

特殊性、 緊急性、 大いに期待する事



デイビッド・リプリー
牧師会会長
北アジア太平洋支部

出エジプト記12章1~28節を読む 神に導かれた運動としての古代イスラエル

最初の過越しの時、エジプトにイスラエル人として
いる事がどういう事だったか想像できますか。九つの
災いが、エジプトの地に対する裁きとして既に下って
います。エジプト人たちに十番目の災いがまさに下ら
んとしています。これが最後の災いとなり、神の民は
出て行く事をゆるされることになることを、神はご存
知です。彼らは神ご自身の選ばれた民なのです。素早
く出て行くのです。道すがらもっと多くの奇跡を見る
でしょう。約束の地は、あと数日のところにあるので
す。

傷のない子羊を取ってほふり、火で焼くように言われ
ています。その周りで、旅に出る服を身に付け、足に
はサンダルを履き、手には歩くための杖を持ち、いつ
でも知らせがあれば、出て行く準備は万端です。彼ら
は特別の神の民でした。神が指示されるまま、直ぐに
出て行く備えをしていなくてははいけなかったのです。
約束の地へ神が彼らをお連れになる時、奇跡に次ぐ奇
跡を期待することになるのです。

子羊の血を採り、家の戸口の柱に塗るようにと指示が
来ました。入り口の柱に血が塗られた家は、どこも神
ご自身の、特別の民の家であり神の保護の下にあります
。滅びの天使はその家を過ぎこすのです。

その通りになりました。イスラエルの子らは、神が求
められた通りにしました。指示された通りに、何時知
らせが来ても出発できるようにして、彼らは過ぎ越し
を食しました。普通の出来事ではありませんでした。
期待に胸は高鳴りました。新しい故郷の家に向かって
いくのでした。

あなたの教会とその使命は神に導かれて

出エジプト記の過越しの物語を瞑想すると、神がこの
記録から私たちに学んで欲しい、と願っておられるこ
とが三つあると思います。特殊性、緊急性、大きな期
待の三つです。私たちの教会は、エジプトからイスラ
エル人を導きだされた、同じ全能・全知の神が今日な
お導いておられます。もし、私たちがリテンション（
教会員在籍率）の問題に打ち勝ち、教会に対する主の
御心を達成するために神に従いたいと願うなら、私た
ちの教会文化がこれら三つの概念を受け入れる事の出
来るよう変わらねばなりません。

私たちの教会が持っている文化的に正しいものが、私
たちを動かして決心をさせます。つまり、正しい決心
が出来るように、文化的な基準を確かめる必要があり
ます。特殊性、緊急性、また期待することがその文化
の一部にならなければ、何世代にも亘って荒野をさま
よいつづける宿命になるでしょう。

この三つは、大変重要なのでそれぞれの教会の文化に

組み込まれなければなりません。そうするためには、
それらが私たちの礼拝、説教、訪問、小グループ活
動、教育、また私たちが行うすべてのものの一部にな
らねばなりません。これら三つの原則を、教会の文化
に入るよういつも伝えていなければなりません。教会
が、神が望まれるように成長しようとするなら、教会
の会衆はこの三つを基準として受け入れる必要があり
ます。

セブンスデー・アドベンチスト教会の文化的土台

特殊性：私たちは神の選ばれた民です。神がこれま
でになさってきて下さった事を思い出し、主の力によ
って達成できる、神が用意されたミッションとビジョ
ンを、教会に常に思い出させるべきです。セブンスデ
ー・アドベンチスト教会は召し出された教会です。神
はあなたの教会を召しておられます。あなたの教会員
に、特別で独特の特定の使命を持っておられます。神
はご自分の目的のために、あなたの群れを共に集めら
れたのです。私たちの地域の中で、他の誰も出来ない
事をするようにと、特別に召し出された民なのです。

緊急性：私たちは、地上歴史の最終時代にいるのだ
という意識に基づいて、教会の決定をせねばなりません。
教会指導者は常に、私たちが地上歴史のどこに
いるのか、教会員に思い出させねばなりません。イエス
は間もなく来られます！助けなくてはならない魂が、
私たちの地域にいます。私たちが
神の使命を果たさなければ、人々は罪のうちに死ぬの
です。弟子になる事が人々に伝道する神の方法だと、
教会に思い出させなければなりません。

大きな事を期待する事：全能であられる神は、人々
を滅亡から救いたいというご自分の願いを果たすため
に、奇跡を起こそうと待っておられます。神は力ある
方で、教会への神の御心は成長する事であり、もし私
たちが協働するなら、神の望まれる事は実際に起こる
という事を教会に思い出させましょう。神の奇跡を期
待し、認めるように教会を教えましょう。教会が、弟
子たちの集まりになり、自分のぶどう園に福音を伝え
ようとするとき、教会に祈る事を、もっと多くの奇跡
を期待することを教えて下さい。

これらが、健康で成長する教会の文化の土台を成す
基本です。私個人の牧会経験では、教会の指導者や会
衆がこれらの三つの概念を把握し、指導に当たって決
定を下して行く時、私の教会は実りあるものでした。
説教は、これらの基本を伝え始める良い場所です。も
し、皆さんが私の作った「特殊性、緊急性、そして大
いに期待する事を始める説教キット」が必要でしたら
、私のメールアドレスに連絡して下さい。支部内の
言語に訳したものを用意しています。（dripley@ns-
dadventist.org）

アクション・ユニット講習会報告（日本）

去る5月末からの一週間、中央ヨーロッパ支部（EUD）より日本にパオロ・ベニニ牧師を招いてアクション・ユニット講習会を開催しました。パオロ・ベニニ牧師は現在その支部で安息日学校・信徒伝道部を担当しているイタリアの牧師ですが、ある研究家の間では彼がアクション・ユニットを実践する事で、彼自身が牧したイタリアの教会や指導した他の教会で、大きな成長や高い教会在籍率を達成したことで有名な先生です。

世界総会の安息日学校・信伝部部長、クンタラフ先生の勧めもあり、日本でリテンション計画に参加している全モニタリング教会、広島・神戸有野台・千葉・東京韓国人・名護・コザ教会を訪問してベニニ牧師によるアクション・ユニット講習会を行う計画を立てました。

十分な講義のためには、二日間のプログラムが必要でしたが、時間の制約があり、6時間という短い講習会で最善を尽くして下さいました。講習会は、弟子作りや全ての信徒が祭司であることについての彼の熱い聖書講義と、祈りと宣教の人になるように求められる主のご命令の学びに満ちたものでした。学びの内容は実際の、

出席者の中から希望者を募って実際の安息日学校のアクション・ユニットを作り、他の出席者の前で実際のクラスを持ちました。参加者は皆、分かりやすい説明を受けて、安息日学校が活性化し、活気のある宣教精神を持ち、すべての教会員が訓練を受ける学校となる可能性を見せられました。

しばらく前、アンドリュース大学で人々がどのようにして教会に来るようになり、教会員になるのかについて研究がなされました。これがその結果です。

・ 牧師	5-6 %
・ 教会のプログラム	3-4%
・ 自分で教会を訪問	2-3%
・ 障害援助	1-2%
・ 安息日学校	4-5%
・ 戸毎訪問	1-2%
・ 伝道講演会	1%
・ 友人や親戚の接触	75-90%

この報告で一番印象的なのは、伝道の一番効果的な方法が沢山の金をお金かける伝道講演会ではなくて、私たちの信徒が友人や親戚として人々に接触することによるということです。しかも、最も興味深い事は、ほとんどの牧師も信

徒もこのことを知らない事です。安息日学校（SS）は教会にある定期的で毎週行っている信徒訓練のための唯一の学校です。預言の霊は、「すべての教会は、クリスチャンの働き人の訓練学校でなければならない」と言っています。（クリスチャンの奉仕、英文p. 59）私たちの教会員は、SSの訓練を通して成長しなければなりません。

すべてのクリスチャンは、神と人間の間の執り成しをする祭司となるように召されています（出エジプト19:6、1ペトロ2:5）。この祭司の働きは、イエスが大宣教命令でお命じになった出て行き、教えて成し遂げるように言われた、弟子作りに良く表されています（マタイ28:20）。SSが教会員のために成さねばならないのは、教会員を弟子に改変するという事です。このことは、SSでケアを受け個人的な訓練を実践するアクション・ユニットで可能なのです。交わりや、聖書研究ガイド、地域伝道、そして祈りを通して、互いの積極的なケアを行うために、最低60分は必要です、夫々のグループ（ユニット）は6名前後で構成します。それは、“Reach Up”、“Reach Across”、“Reach Out”の全ての働きの側面を実践



します。ここで紙面は限られていますので、もっと知りたい方はご連絡下さい。私たちの想像と違って、ヨーロッパの国々でも伝道は簡単ではなく遅々としています。平均的教会出席率は日本などと似ています。ここでも教会は苦勞しています。しかしながら、アクション・ユニットへのベニニ牧師の訴えに応じた教会では、最近

特別の経験をしています。この計画に真剣に取り組んだ教会では、数年の実践期間を経て、確かな結果を産み出しました。それらの教会に、彼は次のような四つの質問をしました。1) 教会の出席率、2) 教会活動に参加する決心をした教会員の数、3) 伝道活動に参加する決心をした信徒の数、4) 小グループに参加する信徒の数、に

ついついの変化です。これがその結果です。

この表では、ほとんど全ての教会で各質問に対して明確な成長傾向が見られます。

特に、教会出席率の増加は、古い信徒を回復することで達成されました。それは、各教会のアクション・ユニットで教会員が祈りのうちに夫々に接触する事で成し遂げられたのです。これは、アクション・ユニットのReach Across (信徒への働きかけ) の働きの結果です。アクション・ユニットの性質から言って、信徒の在籍率も大きく向上したに違いありません。これこそ、リテンション計画を行っている、私たちのNSDにとって大変重要な事です。興味深い事に、小グループ活動まで活性化しています。

更に詳しく知りたい方は、支部の福井か、教団の山地先生までご連絡ください。

	教会名	1) 教会出席	2) 教会奉仕	3) 伝道活動	4) 小グループ
1	ポルトガル (Portugal)	10%	6%	6%	4%
2	リリア (Spain)	50%	30%	20%	10%
3	カマリレリス (France)	50%	8%	0	0
4	アレッサンドリア (Italy)	20%	20%	15%	20%
5	トリノ・ロメナ (Italy)	15%	10%	12%	12%
6	クレモナ (Italy)	70%	40%	50%	30%
7	マッサ (Italy)	75%	65%	50%	65%
8	ブレシア・ガネセ (Italy)	55%	30%	10%	7%
9	ベテル・ブザウ (Romania)	10%	20%	10%	3%
10	デスカレスチ (Romania)	60%	50%	30%	0
11	サラト (Romania)	60%	40%	20%	10%
12	クルジ (Romania)	60%	30%	30%	20%
13	ヒラデルヒア (Romania)	0	10%	10%	0
14	モビラ (Romania)	0	15%	10%	10%
15	ニコレスチ (Romania)	60%	40%	40%	50%
16	ペリソル (Romania)	0	25%	15%	10%
17	レシタ (Romania)	10%	10%	5%	10%
18	トリアンバ (Bulgaria)	30%	20%	20%	0
19	アーラウ (Czech)	10%	5%	2%	0

*1) Church Attendance, 2) Involvement in Church Services, 3) Involvement in Outreach, 4) Participation in Small Groups.



福井輝
リテンション
プロジェクト
コーディネーター
NSD支部

Welcome! Retention Plus

編集後記：

教会から離れ、長期欠席者となった多くの教会員の方々が、いつしか独りでに、教会員や教会の暖かい霊的交わりに戻ることなく、イエスのご再臨の前にその祝福された日に備えるために、主の愛を証ししようと自ら熱心に活動的になることを想像することは、まず出来ません。もしそれが本当なら、今教会の中で失われた人々は、もし今、私たちが意識的に悔い改めて、働きかけをしないなら、永遠に失われてしまうことになります。

NSD支部のリテンションとリクラメーション（教会員在籍率向上と長期欠席者回復）委員会では、この新しい定期刊行物（願わくは2ヶ月1回発行を予定）の発刊を今回決定しました。今回はその第一号です。どうぞ、この発刊物が私たちの愛する教会の状況を改善する、何らかの一助となるようにと、祈っています。